

黎明書房 長瀬拓也著

『探究する社会科』

長岡文雄と子どもたちの「考えあう授業」に学ぶ

令和8年(2026)1月1日発行

『探究する社会科』は、社会科教育の名教師・長岡文雄の授業を詳細に分析し、子ども同士が問いを共有し考えを深め合う「考えあう授業」の本質を示す。批判的思考力（クリティカル・シンキング）を育てる授業構成や教師の役割、問いの立て方を具体的に示し、現代の教師が探究的な社会科を実践するための視点と方法を提示する一冊である。

特に第3章「考えあう授業の分析① 長岡文雄『近鉄地下乗り入れ工事』（三年）の実践から」では近鉄の地下鉄乗り入れ計画を題材に、交通利便性と住民生活・安全・費用負担などの利害対立を子どもが議論し、合意形成の難しさを学ぶ授業を分析。社会的意思決定の視点を育てる章である。

奈良の当時の写真を用い説明しており、「奈良の今昔写真WEB」から引用されている。



油阪駅ホーム北向き(昭和43年)



地下工事中の近鉄奈良駅(昭和44年)



取壊し前の油阪駅(昭和44年)



油阪駅西から東方向 地下化工事中(昭和43年)



油阪商店街にかかる横断幕 油阪駅は廃止された(昭和43年)